



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第 2780 地区

横須賀北ロータリークラブ週報

2021～2022 年度

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会場 かながわ信用金庫追浜支店 3階 横須賀市追浜本町 1-28
 TEL 046 (866) 1515
事務所 鈴木ハイツ 2F 横須賀市追浜町 3-22-202
 TEL・FAX 046 (866) 1801
 URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>
 E-mail: info@yokosukakita-rc.jp



会 長 高田 源太 副 会 長 竹永 薫
 幹 事 佐々木佑倫 会報委員長 飯倉 正俊

第 2 8 2 3 回 2 0 2 1 年 1 0 月 1 9 日 『火曜日』 横須賀北 R C

点 鐘
合 唱
司 会
ゲスト

「横須賀北ロータリークラブの歌」
 高田 源太 会長
 地区米山奨学資金推進委員会委員長
 矢部 房男 様 (逗子ロータリークラブ)
 地区米山学友委員会委員
 匂坂 祐二 様 (逗子ロータリークラブ)
 米山奨学生
 郭 育婷 (カ ムティン) さん



矢部房男様 匂坂祐二様

ビジター
誕生日祝
入会記念日のお祝い
「出席報告」

(本日)10月19日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
20名	19名	12名	63.16%	4名	16名	84.21%

(前々回)10月5日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
20名	19名	15名	78.95%	1名	16名	84.21%

「メーキャップされた会員」

10/12 第1グループ 三役会 高田源太会長・竹永 薫副会長・佐々木佑倫幹事

「ニコニコBOX」

地区米山奨学資金推進委員長 矢部 房男様（逗子ロータークラブ）

米山委員会卓話をさせて頂き感謝します。

本日は卓話者匂坂様の随行で参りました

地区米山学友委員委員 匂坂祐二様（逗子ロータークラブ）

本日は宜しくお願い致します

三役

急に寒くなってまいりました。朝布団から出るのに少しためらってしまいました。体調管理にお気を付けください。本日は米山奨学資金推進委員長矢部様、米山学友委員会匂坂様、お越し頂きまして有難うございます。匂坂様へ宜しくお願い致します

福嶋義信会員

矢部房男地区米山奨学推進委員長匂坂祐二地区米山学友委員会委員
本日は宜しくお願い致します

前川永久会員

矢部様、匂坂様ようこそお越し頂きました。米山月間卓話宜しく
お願い致します

小出純子会員

本日は矢部様匂坂様宜しくお願い致します

金井秀樹会員

ゲストの矢部様、匂坂様ようこそ。

匂坂様 本日卓話宜しくお願い致します

武藤修儀会員

本日は矢部様、匂坂様宜しくお願い致します

ニコニコBOXの合計は 12,000 円(累計 87,000 円)

財団BOXの合計は 7,600 円 (累計 18,221 円)

ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します



出席報告
小出純子 SAA



ニコニコ報告
武藤修儀副 SAA

「会長あいさつ」

- ・コロナ感染も落ち着いてきましたがまだまだ予断は出来ません。気を付けましょう
- ・いざという時のために「AED」訓練も必要事項かと本日の新聞で感じました
- ・本日は米山月間ということで地区からの卓話者として匂坂様においで頂きました。後程お話を宜しくお願い致します
- ・11月の例会予定です。2日に田島がバナーがゲストでいらっしゃいます。9日は工学博士二村悟様の卓話 16日は独園寺において座禅会を開催いたします
- ・7日（日）に追浜駅前においてポリア根絶キャンペーンということで募金活動を行います。

「幹事報告」

◎がバナー事務所より「世界ポリア根絶サミット inD2780」のご案内

日時 10月24日（日）12：30～16：15

場所 YouTube 視聴 URL

◎ローター財団より小菅健史会員 高田源太会員へ

ポータルスタッフ認証状とピンバッジが届いております

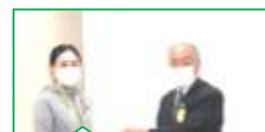
◎第22回2021年日産カップ 追浜チャンピオンシップ大会は中止となりました

◎回覧 ①横須賀南西ロータークラブ 週報 ②ハイライトよねやま 259

◎配布 ①がバナー月信

◎本日は 10月最終例会ですので財団 BOX を廻します。ご協力宜しく
お願い致します

◎横須賀ロータークラブ・三浦ロータークラブ・横須賀西ロータークラブ・横須賀南西ロータークラブより例会のお知らせ受領



郭さんへ奨学金

「スピーチ」

【米山学友委員会委員 匂坂 祐二様】

ローター-米山記念奨学事業は、日本のローターが作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1952 年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。「公益財団法人ローター-米山記念奨学会」というのは、この事業を行うために、日本のローターが協同して運営する奨学財団で、財源はすべて皆さんからのご寄付で成り立っています。この奨学金の最大の特長は、「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振り込みが多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはローター活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。



米山事業のはじまりですが、終戦翌年の 1946 年、“日本のローターの父”と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなりました。3 年後の 1949 年、戦争のため解散を余儀なくされていた日本のローターが国際ローターへ復帰します。戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことが出来るような何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。1952 年、東京 RC の古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これはアジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。こうして東京 RC が始めた「米山基金」は、わずか 5 年で、日本の全ロータークラブの共同事業として継承され、1967 年には財団法人ローター-米山記念奨学会が設立されました。米山奨学事業は、日本のローター独自の活動として作られ、発展してきました。このためローターの活動ではあるものの国際ローターと一線を画す状況が続いていました。

そうした関係が次第に変化してきたのは 2000 年に入ってからです。2004 年 11 月の RI 理事会では「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ローター-米山記念奨学会を称賛する」とされ、ローター-米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」（現在は多地区合同活動）の手続きを取ることで、ローターの名称やローターマークを今後も引き続き使用することを認めるということが決議されました。2007 年には全 34 地区からの同意を得て RI の定める多地区合同奉仕活動として、すべての手続きを完了しました。そして 2014 年 1 月の RI 理事会では学友の定義が拡大され、米山学友も「ローターの学友」となりました。これを受けて、2016 年の WU 国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ローターファミリーの一員として参加したのです。米山は外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。

今年 4 月からスタートした 2021 学年度は、日本全国で 910 人（前年度 883 人）が現在、各ロータークラブでお世話を頂いています。累計では世界 129 の国と地域から 2 万 2,267 人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフの通りです。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、最近ではベトナムからの留学生が急増しており、現役奨学生の中では中国に次いで多くを占めています。今年の奨学生を含む累計人数は、中国が 7,406 人、韓国が 4,592 人、台湾が 3,527 人です。米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」「交流への熱意があるかどうか」「人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。勿論、応募書類の審査もしています。ローター-米山記念奨学会は 2012 年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。そのうえで、例えば「国籍や県別割合の調整」「地区独自に実施するグループディスカッションの評価」など地区の裁量を加えて良いことになって

います。米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。珍しい国だから、生活に困っているから、学校の成績が優秀だから…。いずれも、ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。当地区では今年度 32 人の奨学生を受け入れています。出身国・地域は中国・マレーシア・韓国・台湾。スウェーデンやコロンビア、アフガニスタンからの奨学生も採用されています。来年、2022 学年度の割当数は 31 人、これに加えて、海外応募の奨学生などが加わる可能性があります。

米山奨学金について少し詳しく見ていきます。2020—21 年度の寄付収入は 13 億 3,684 万円（前年度 13 億 3,600 万円）とその前の年度とほぼ同額でした。有価証券の配当金は、事前の取り決めにより、奨学金にのみ使用しています。皆様のご寄付はほとんどが奨学金に使われていますが、奨学金以外、例えば地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などにも一部使われています。米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、管理費は支出のわずか 3% です。昨年度は事務局のコロナ対策に係る物品購入があり、管理費がわずかに利子収入を超えてしまいましたが、基本的には利子収入で賄っていくよう努めています。昨年度の全国平均は 15,516 円でその前の年度より全体で 500 円ほどアップ。最も高かったのは第 2590 地区（神奈川県横浜市・川崎市）の 27,421 円でした。当地区は一人当たりの平均は昨年より 700 円ほど減少しましたが 19,633 円、全国で 7 番目のご寄付を頂きました。当地区の個人平均額 19,633 円のうち普通寄付金は平均 4,800 円、全国平均は 4,865 円。また、特別寄付金は 14,833 円全国平均は 10,651 円でした。2780 地区の寄付金についてですが、コロナ禍により累計 400 万減少しています。この金額が減ることにより、米山の奨学生の受け入れ人数を減らすなどの対策を取っていますが、何とか沢山の奨学生を受け入れ、日本との架け橋となる学生を受け入れていきたいと考えております。巣立った奨学生の OB 組織、米山学友会は日本に 33、海外に 9 つあります。日本は 34 地区なので 1 つ足りないように見えますが、日本の全地区に学友会があります。それぞれ、親睦を深めたり、自主的に社会奉仕活動をしたり、ローターの活動に協力したりしています。巣立った奨学生たちは、個人としても様々な形で活躍しています。教育や研究、NPO や NGO、起業するものなどあらゆる分野にわたっています。

ローターに親しんだ学友たちは、卒業後も、ローターとのつながりを持ち続けたいと願っています。その 1 つとしてローターアクトに入会する学友、また、ローターアンとしてクラブに入会する学友がいます。現在ローターアンになった学友は 257 人おり、その中にはガバナーになった学友も 3 人います。また米山学友が中心となって設立したロータークラブは国内外に 5 つあるほか、昨年度は米山学友が中心となった衛星クラブが第 2570 地区で設立されました。

米山記念奨学事業の成果、それは「学友」そのものです。2011 年、東日本大震災が起きた時に、発生直後から日本の無事を願うメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から 760 万円の義援金が送られました。熊本大地震の時にも、上海米山学友会から 20 万円が寄せられました。そして今年 7 月、熱海で発生した土砂災害のニュースを見た台湾学友会がすぐに募金を開始し、米山学友 60 人から寄せられた 150 万円を台湾から送金してくれました。こうした日本で起きた災害への義援金以外に、米山奨学会へ寄付してくれる学友が寄付のほとんどはローターアンによるものですが、実は学友からも先ほどの義援金以外に累計 3,980 万円の寄付を頂いています（2021 年 6 月末）毎月 1 万円、毎月 2,000 円などこつこつ継続して送金してくれている学友もいます。こうした「寄付」という形でのローターへの恩返しは、他のプログラムではあまり見られないものです。公益財団法人ローター米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業

務を地区・ガバナー・世話クラブへ委託する形となっています。これまではその点を明文化することなく運営してきましたが、内閣府からの指摘により「業務委託に関する規定」を整備しました。そして2020学年度採用分から「米山奨学会」と「地区」との間でまず覚書を交わし、続いて「地区」と「世話クラブ」との間で覚書を締結して頂いています。これは1回限りではなく、毎年実施するものです。奨学生に関してやっていただく内容はこれまでと変わりなく、互いの位置づけを改めて明文化した、ということになります。今年も12月頃からガバナー・ガバナーエクストと奨学会との間で覚書を交わし、来年2月頃から、地区と世話クラブ会長・会長エクストとの間で覚書を交わしていただきます。

公益財団法人ローター米山奨学会は昨年、内閣府賞勲局から「紺綬褒章」の公益団体に認定されました。これにより2018年9月12日以降のご寄付で、個人の場合は500万円以上、団体・企業などは1,000万円以上を当会へ寄付していただき定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章の授与申請を致します。あらかじめ申し出て頂いた場合には、分納による寄付も可能です。紺綬褒章とは公益の為に私財を寄付し功績顕著なる方々に対し、天皇陛下から授与される栄典です。関心のある方は米山記念奨学会事務局へお問い合わせください。

このたび米山初の紺綬褒章受賞者が誕生しました。国際ローター第2630地区（岐阜県・三重県）上野RCの丸山統正氏が米山奨学会へ多額の寄付をしたことにより今年5月紺綬褒章を受章されました。7月6日のクラブ例会にて褒章伝達式が行われ米山奨学会の水野功副理事長から丸山氏へ褒状が贈られました。現在「ローターの学友」は次のようなプログラムに参加したことのある人を指します。インターアクト・ローターアクト・RYLAは皆さんよくご存じだと思います。留学生支援というくくりでいうとローター平和フェロー、グローバル補助金又は地区補助金によるローター奨学生、ローター青少年交換学生、そして米山記念奨学生もローターの学友です。

今後とも米山へのご支援宜しくお願い致します。

【米山奨学資金推進委員会委員長 矢部 房男 様】



本日、横須賀北RCの卓話例会に卓話者RID2780米山学友委員会句坂委員と随行の私まで参加をさせて頂き感謝申し上げます。横須賀北RCの皆様は米山記念奨学会へのご理解が深くこのコロナヴィールス禍であっても欠かさず多額のご寄付を頂戴しており心より感謝申し上げます。これからも宜しくお願い申し上げます。

